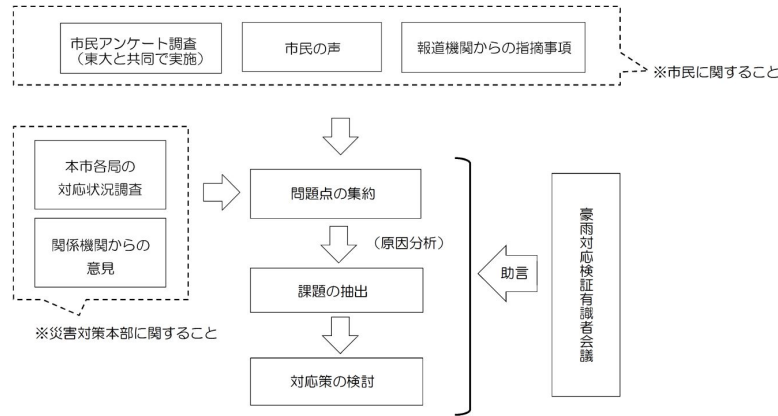


札幌市 9.11 豪雨対応検証報告書（素案）の概要

第1章 検証の目的と手順

33年ぶりに災害対策本部を設置し避難勧告を発令した平成26年9月11日の豪雨時の本市の対応状況や市民の避難に対する意識などを検証することで、本市の災害対応体制を見直し、今後の危機対応力の向上を図ることを目的とする。



第2章 9月11日の状況

- 1 気象状況・・・大雨特別警報・警報の発表状況、降水状況等
- 2 被害状況・・・被害件数等
- 3 対応時系列・・・配備体制、避難勧告発令、職員参集状況等

第3章 市民アンケート調査

- 1 調査期間：平成26年12月12日～12月29日
- 2 配布数：2,676 回収数：1,341 (回収率50.1%)
- 3 対象者：① 9月11日大雨時に避難所へ避難をした男女個人を避難所名簿より全件抽出 (20歳以下を除く)
② 20歳以上の札幌市民男女個人・各区人口比例割付後に無作為抽出

第4章 札幌市9.11豪雨対応検証有識者会議の概要

検証にあたり、3名の学識経験者を委員とした「札幌市9.11豪雨対応検証有識者会議」を設置し、客観的かつ専門的な意見、助言等をいただいた。

- 1 委員
加賀屋 誠一 (座長) 室蘭工業大学理事・副学長
近藤 伸也 人と防災未来センター研究主幹
定池 祐季 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター特任助教
- 2 会議
第1回：平成26年12月8日 (月) 13:00～15:00
第2回：平成27年3月13日 (金) 14:00～16:00

第5章 問題点の集約・課題と対応策

問題点を集約し、原因を分析のうえ課題の抽出を行い、以下の7項目に整理して対応策を検討した。54項目の対応策のうち、39項目が既の実施済み(㊤)又は着手済みで短期(平成27年度中)で結論を出すことが可能な取組(㊤)である。残り15項目については、今後、中長期的に検討していく(㊤)。

